



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.9.30(金)

No. 80



文責
松永

集団宿泊教室(阿蘇青少年交流の家)に行ってきました② 五年生

9月28日の夜のプログラムは「星の観察」でした。夕食後、講堂に移動してスライドを見ながら、天体の話を聞きました。宇宙から見た写真から、「地球はどう見えているのか？日本はどんな感じなのか？」といった話題だったり、星に関するクイズがあったりと、興味深い話に関心をもって聞いていました。そしていよいよ夜の草原に場所を移して、夜空を見上げる時間になりました。私もこれまで引率で行った阿蘇で見上げた夜空は、きらきらと光る星がまるで降ってくるようだったといった経験がありましたので、期待しているプログラムの一つでした。しかし、今回は残念ながら厚い雲にはばまれて、星を見ることはできませんでした。足元を懐中電灯で照らしながら、歩いていく途中途中で360度ぐるぐる回りながら夜空を見上げましたが、やっぱり難しかったです。でも、私は(子どもたちも?)夜の草原に立つという経験がはじめてだったこともあり、草がふわふわした感じで足元を包む感じを楽しんだり、遠くに見える町並みの灯りをたよりに位置関係を確認したりと、違った楽しみ方ができました。「暗い夜の草原もみんなでいると怖くなかった」そんな声も聞かれました。講堂から部屋に戻ったらクラスごとに入浴でした。広いお風呂に入ったことで、疲れた体が少し楽になったようです。それから消灯の時間までは、部屋でしおりへの記録や就寝準備をして過ごしましたが、楽しくて仕方ない子どもたちは、友達の部屋に行ったり、大きな声で話したりすることもあって、ちょっとばかり反省点もありました。消灯後は静かに休んでいる…と思っていたところ、ざわざわここそ！「静かに休みます」と声をかけて回りました。



少しひんやりとした空気に包まれて29日の朝を迎えました。起床後、荷物の整理をした後は、クリーンタイムで、部屋や使用した館内の掃除をして、環境を整えたところで朝のつどいが行われました。寝起きだったからなのか？挨拶の声がほとんど聞かれなくて残念でした。交流の家の先生の進行でラジオ体操をしたり、今日のスケジュールを聞いたりしました。その中で、稜線に近いところに雲が広がっている様子は珍しいと教えてもらいました。学校からの連絡の中で、船田先生から挨拶の大切さについて話がありましたが、学校でも同様、自分から「おはようございます」が言える子どもになってほしいと思いました。まだまだ続きます。

